

海南高等学校大成校舎

実施日時	令和2年11月18日(水)
参加者	生徒124名、教職員16名 計140名
実施内容	講義

ねらい

- 1 頻発する自然災害に対する知識や心構えについての学習
- 2 日常生活を通しての減災に対する実践的な態度の育成
- 3 災害後に必要とされる行動及び共同作業のスキルの習得

これらを通して災害に対する「自助」「共助」「公助」について3年間を通じた総合的な学習を行う。

主なプログラム

- 1 講義「地震発生～その時あなたはどうしますか～」を受講

概要

- 1 災害への備え・ハザードマップ・警報サイレンなど
- 2 DVD視聴「被災地から伝えたい～テレビカメラが見た東日本震災～」

参加者感想文

- ・災害から命を守るためどういう行動をとればよいのか、日頃からどういった対策を取ればよいのか等について詳しく知ることができた。

成果と課題

【成果】

災害から命を守るためどういう行動をとればよいのか、災害時に高校生として出来ること等について、生徒は熱心に聞いていた。

【課題】

今年度は当初、地域との連携を考えていたが、コロナ禍の影響で行えなかった。コロナ禍が終息すれば、地域との連携した取り組みができればと考えている。